

【泉区】令和6年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和6年2月5日 午後2時00分 ～ 午後3時05分
場 所	泉区総合庁舎4階4ABC会議室
出席者	<p>【座長】 梶村 充 議員</p> <p>【議員：2人】 横山 勇太郎 議員、麓 理恵 議員</p> <p>【泉区：30人】 山口 賢 区長</p> <p>市川 一弘 副区長</p> <p>西野 均 福祉保健センター長</p> <p>濃野 誠 福祉保健センター担当部長</p> <p>斎藤 慎太郎 泉土木事務所長</p> <p>和田 誠名 泉消防署長</p> <p>ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和6年度年度泉区個性ある区づくり推進費予算案について</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 横浜市松風学園再整備事業の進捗状況について</p> <p>(2) 泉区内における主な局事業等の進捗について</p>

発 言 の 要 旨	<p>1 令和6年度年度泉区個性ある区づくり推進費予算案について</p> <p>麓議員：11ページの「商店街振興支援事業」について。前回の会議で、経済局の「横浜市商店街プレミアム付商品券支援事業」について、もっと商店街の皆さんに伝えてくださいということをお話した。今回はこの事業に中田商店街をはじめとして区内の5つの商店街が参加された。1月31日に終了したばかりなので、振り返りはこれから行うかと思うが、実施した感想など、現時点での商店街からの声があれば教えてほしい。</p> <p>塗師地域振興課長：泉区の商店街として初めて、プレミアム付商品券を12月2日・3日に立場駅で販売した。大変好評で、とても多くの方に並んでいただき、数時間で完売となったと聞いている。これまで、区役所と経済局で補助金の申請方法や広報等について支援を行ってきた。現在、結果を取りまとめ中だが、かなり多くの方に利用いただいた。区商連の役員の方の感想を聞いてみたところ、常連客だけでなく、新たに商店街</p>
--------------	--

に来られるお客さんもいらっしやっただのことで、より幅広くいろいろな方に泉区の商店街の魅力を知っていただくことにつながった。今回は初めての販売だったが、予想より好感触だったということもあり、区商連の方からも、またやってみたいという声をいただいているので、前向きに検討していきたい。

麓議員：商店街からは、実施にあたっての準備等に区役所から支援をもらったとの感謝の声も聞いている。本事業は確実に地元にお金が戻ってくるものであり、今年度は6月から補正予算で実施ということもあつたので、あらためて進めていってほしい。

もう1点、商店街で管理している街路灯の老朽化の問題について。経済局の来年度予算では、老朽化対策のための予算が組まれている。街路灯の管理が大変であり、電気代等の維持費用も商店街として負担していくことは難しいという声を聞いている。このことについて商店街とはどのような話をしているか。

塗師地域振興課長：街路灯については、商店街で維持管理するのに費用がかかる。ただ、経済局の予算も限られているので、防犯灯と街路灯と優先度をつけながら対策を進めていきたいと聞いている。商店街と連携しながら進めていきたいと考えている。

横山議員：15 ページ（2）の「プラ資源分別拡大プロモーション事業」について。これは、泉区独自で広報啓発していくということか。

塩谷地域振興課資源化推進担当課長：局でももちろん広報するが、泉区独自で広報を実施する。例えば、単に分別を呼びかけるだけでなく、分別の背景にある脱炭素の取組をしっかりと伝えていく。また、局の広報活動では、どうしても横浜駅などでの広報が中心になってしまい、郊外部の駅やバスは難しい部分がある。区の取組として、地元の駅等での広報を実施する。

横山議員：最近、区民の方からプラ分別拡大の話題をよく聞く。非常に関心度が高いので、しっかりやってほしい。

関連して、ごみ収集車の放送の音が小さくなったという声が寄せられたが、実際はどうか。

塩谷地域振興課資源化推進担当課長：基本的には、収集に来たことが分かる音量にしている。ただし、場所により、音量が大きいという声をいただいた場合には、その場所だけ音量を調整することもある。

横山議員：26 ページの「公園整備事業」関連して。コロナが5類になっ

た昨夏、公園も制限なく遊べるようになった場所が多かったものの、非常に暑かった。すべり台などの遊具も熱くなってしまい、使えない。そういった声は、今年も多く出てくるのではないかと思う。先日発表された豊島区の新年度予算では、公園の暑さ対策のための予算を計上している。今後、関連する問合せ等があれば柔軟に対応していただきたい、ということをお願いしたい。

丸山泉土木事務所副所長：夏場の公園での熱中症対策のため、局でも予算を計上している。例年、暑さ対策としてどのようなことができるか、関係者で検討している。たとえば、樹木などの剪定の際に過ごしやすい木陰をつくるなどの配慮をしている。引き続き、暑さ対策のための公園施設の機能にも着目しながら、公園の維持管理を行っていききたい。

横山議員：例えば、プールや公園で屋根付きのベンチを置いても、ただ荷物置き場にされるだけになってしまうことが多い。そうではなく、きちんと暑さ対策になるような取組をお願いしたい。

もう1点公園に関連し、地蔵原の水辺について。現状、川に入って遊ぶことができるか。

丸山泉土木事務所副所長：現状、水の中に入らないでください、というアナウンスは特にしていない。ただ、降雨時や、降雨の前兆がある時は、速やかに退避するように、パトランプや看板等で注意喚起を行っている。

横山議員：では、地蔵原の緑地帯も、現在は遊ぶことができるか。

丸山泉土木事務所副所長：遊ぶことができる。ただ、様子を見ていて危ないときなどは声かけして注意喚起することはある。

横山議員：子育て支援に関連し、毎回聞かせてもらっているが、居所不明児について。泉区の現在の状況は。

中澤こども家庭支援課長：健診を受けていないということがあれば、ずっと追いかける対応をしており、泉区の居所不明児については、現在、ゼロである。

横山議員：37 ページ（3）の「不登校・ひきこもり事業者活動支援事業」について。第4回定例会の一般質問でも取り上げたが、コロナ禍もあり、この約5年間で、市内の不登校児童生徒数が1.8倍になったとのこと。このまま増えていくのかは分からないが、放っておけない状況。政治で解決していく必要を感じるが、法整備等もあり、行政側も動きやすくなってきていると思う。泉区はこの問題について力を入れている。施

策展開について進展があったようだが、担当部署から意気込み等あれば聞かせてほしい。

朝倉こども家庭支援課学校連携・こども担当課長：令和5年10月に教育委員会事務局の受託事業として、ハートフル西部が開設された。ご指摘のとおり、不登校の方が増えているという状況があるが、不登校に至る原因やきっかけは人それぞれ。状態についても人それぞれ異なり、これについては常に変化していく。ハートフル西部という拠点が1つできたとはいえ、拠点を設置するだけでは十分ではないと考えている。泉区内ではすでに、不登校児童・生徒の支援に携わっておられる地域の方がたくさんいる。教育委員会事務局でも、校内ハートフルをはじめ、様々な施策を進めているが、区の来年度の事業では、できるだけ多くの事業者とネットワークをつくり、不登校や引きこもりなどの悩みを抱えている児童・生徒とその保護者の方に相談先の選択肢を増やし、できるだけ多くの方が最適な支援策につながるよう、支援をさらに進めていきたいと考えている。

横山議員：少しでも多くの方が支援につながるよう、引き続きよろしくお願ひしたい。

29 ページ (2) の「認知症等地域支援事業」について。議会でも、機会をもらうたびに質問させてもらっているが、認知症については、ご家族の方たちの負担が非常に大きい。今後3～4人に1人が、認知症の何かしらに関係してくるのではないかということである。体が健康な方の認知症だと、誰か1人が常に側についていないといけない状況に追い込まれてくる。そのような状況で社会を回すことができるのか、とても心配している。ご本人はもちろん、ご家族の方たちに大きく負担がかかってくるので、フォローできるように取り組んでいってほしい。今回の資料では、「家族の」という単語を入れたようなので、ぜひよろしくお願ひしたい。担当部署から意気込み等あれば聞かせてほしい。

稲垣高齢・障害支援課長：日々、ご本人やご家族、地域の方のご協力をいただきながら、区と地域ケアプラザと一緒に支援をさせていただいている。今年度は映画上映会を実施し、190 人の方にお越しいただいた。それだけ関心が高かったと考えている。来年度については、ご家族の方や私達がどのようなことに気を付ければ当事者の方が過ごしやすくなるか、ということが学べるような講演会を検討している。新たな視点を学ぶことができる機会を設けることにより、さらに支援を推進してい

ければと考えている。

梶村議員：27 ページの、阿久和川の「集いのまほろば」について。「GREEN × EXPO 2027 までのリニューアルを目指す」とあるが、確かに現状は老朽化しており、危ない状況で中に入れなくなっている。ただ、老朽化する前から、お祭りの時くらいしか使っていなかった。そのため、リニューアルにあたっては、地元の方と一緒に、どういう形で整備したら良いか、また普段はどう使っていってほしいかを話し合いながら進めていってほしい。

丸山泉土木事務所副所長：「集いのまほろば」については、平成 10 年に竣工、供用開始した。意匠が美しい、とてもきれいな施設だったが、河道内にあり木製のため、老朽化が著しく、損傷が目立っている。リニューアルにあたっては、まず、局の方で市全体の河川環境施設についての基本構想を策定する。その対象施設の 1 つとして「集いのまほろば」に焦点を当て、整備を検討していく形となる。地域のご意見を聞きながら、持続可能な施設となるよう、材質や意匠等を検討していきたい。情報提供させていただきながら進めていきたい。

2 その他

(1) 横浜市松風学園再整備事業の進捗状況について

麓議員：最終工事の完成はいつか。また、完成後の各建物の利用方法についての情報がほしい。

大津健康福祉局障害施設サービス課長：完成は令和 8 年度を予定しているが、入札不調等もあり、時間がかかっているため、もう少し延びる可能性があるという状況。各建物の利用方法については、情報を整理してご案内する。

2 その他

(2) 泉区内における主な局事業等の進捗について

特になし

3 その他

特になし

備考